

宮古の風

～ 新しい風は東から～



「かわいい子には体験を！」
夏休みは多様な学びや体験に触れることができる貴重な機会です。体験活動は「社会を生き抜く力」を育みます。地域での体験活動に参加し成長を遂げた子どもたちとの始業式での再会が楽しみです。 文責：黒田

地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座

5月27日（水）に、地域学校協働活動推進員地区別研修講座を開催しました。地域学校協働活動推進員（コーディネーター）、学校関係者、行政担当者及びNPO職員等にご参加いただきました。

当日は、岩泉町立小川小・中学校地域連携コーディネーター下道久美氏と、遠野市の地域学校協働活動推進員から実践発表をいただき、地域と学校の連携の在り方について多くの学びを得ることができました。

また、情報交流では、いわてCSアドバイザー佐々木勉氏を講師に迎え、各地区のコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の取組について様々な立場から意見交流が行われました。



【受講者の声】（一部抜粋）

- ・改めてCSと地域学校協働活動の一体的推進とは？ということをも熟考できた良い機会でした。
- ・自分の役割ややるべき事などを紙に書き出すことで客観的に考えることができ、他の参加者の方の活動も知ることができました。
- ・様々な立場で意見を述べ、経験を共有し、情報の交換ができたことが有意義だった。今後役に立ちます。

中・高等学校図書館担当者等研修会

6月26日（金）に、中・高図書館担当者等研修会を開催しました。中学校や高等学校の先生方を対象とした研修会でしたが、公立図書館職員、読書ボランティア及び家庭教育支援チームの皆様にもご参加いただきました。

県南青少年の家所長佐藤敦士氏を講師に迎え、「地域とつくる学校図書館」と題してご講義いただきました。地域学校協働活動のなかで、子どもたちが読書に触れる環境づくりについてたくさんのヒントいただきました。

協議では、様々な立場の方が集まり「学校と図書館の連携」「学校と地域の連携」など、地域全体で読書活動を推進するためにできることを考える機会となりました。



【受講者の声】（一部抜粋）

- ・学校運営協議会や生徒で協議できる場をつくり、こんな図書館なら利用してみたいといったことを確認したいです。本が生活の中にある環境を作っていければと感じました。
- ・図書室を居心地の良い空間にするために、企画をしたり、地域と協力をしたりするという考えはとてもすばらしく、やってみたいと思いました。
- ・学力向上を目指す時には、読解力の向上も必要であると感じることができ、その読解力を楽しみながら伸ばすためには読書がとても有効であることが分かった。

60（ロクマル）プラスプロジェクト推進計画について

今年度も、健やかな体の育成を目指し、各学校で「60（ロクマル）プラスプロジェクトの推進計画」を作成していただきました。推進計画「5前半の振り返り」について、運動習慣、生活習慣及び食習慣担当者間で1学期の振り返りの時間を設け、その内容を校内全体でも共有し、2学期以降の取組につなげてほしいと思います。

以下、管内小中学校の取組をいくつか紹介します。今後の取組の参考にしていただけると幸いです。

〈小学校〉

運動習慣		生活習慣	食習慣	職員間の連携
体育の授業	体育の授業以外	・チャレンジカードと生活習慣カードの一体化による意識付け ・睡眠に関する保健指導 ・「体づくり通信」の発行	・委員会によるカミカミタイムの実施（毎月） ・残食調べ（3回） ・栄養教諭と連携した食育指導、間食指導	・体力テスト、チャレンジカードの取組結果からの課題を共有する ・養護教諭、栄養教諭と連携した保健領域や特別活動の授業の実践
・授業の導入で「〇〇小エクササイズ」を実施 ・体力テストの結果を受けた授業改善 ・運動時間 50%以上	・校内に児童が体を動かしたくなるコーナーの設置 ・委員会主催の学団遊び ・「歩いて登校がんびり週間」の実施			

〈中学校〉

運動習慣		生活習慣	食習慣	職員間の連携
体育の授業	体育の授業以外	・生徒会によるメディアコントロールに関わるルール作り ・誕生日に身体測定を行う「Happy Birthday 健康診断」 ・小中合同ノーメディアデー	・食育だよりの発行 ・栄養士による食育指導 ・長期休業中の食に関する指導（味噌汁レポート、おにぎりチャレンジなど）	・教務主任等との相談 ・生徒主体で進めるが、生徒指導担当・委員会担当・担任にも周知し、協力を依頼する。
・導入段階で、生徒が高めたい体力を選んでトレーニングを行う ・秋の体力測定を行い、冬季の目標を設定する	・生徒会主催のスポーツレクの実施 ・内容を選べる合同トレーニング ・歩数計の活用 ・60 プラスプロジェクトウィーク（3つの習慣を意識）			

夏休み中の事故の未然防止に向けて

長期休業中は、普段とは違う生活となることから、安全面への意識を高めることが重要です。今年の夏も気温が高い日が続くことが予想されます。熱中症や水の事故等には十分気を付けるようにしましょう。また、メディア利用についても発達段階に応じた指導をお願いします。

2学期の始業式に全員元気な姿で会えるよう各学校で個に応じた支援をお願いします。

- ◎外出時には、家族に行き先や帰宅時間を告げるようにするとともに、子どもの一人遊びや単独での外出は避けるよう指導する。
- ◎不審者に遭遇した場合は、大声を出してまわりに助けを求め、子ども 110 番の家等に避難することや、直ちに警察や学校に連絡するよう指導する。
- ◎インターネット上のいじめや誹謗中傷の書き込みの防止、各種 SNS や不審なアプリ等の利用に伴う危険性、長時間に及ぶゲーム機や情報通信機器使用の問題点についての指導を十分に行う。（「児童生徒向け情報モラル教育指導資料（わんに情報室）」参照）

クマの出没に対する児童生徒等の安全確保について

今年度も管内で非常に多くの熊が目撃されています。夏休み中、また、2学期以降も安全安心に児童生徒等が屋外で活動できるよう、地域の方々や保護者等とも連携して、出没抑制対策に取り組んでいただきたいと思います。具体的には、学校施設、通学路や広場、グラウンド等に放置された農産物や果樹などの撤去や、藪の刈り払いなどをお願いします。また、熱中症対策も行いながら、地域の方々の見守りによる児童生徒の活動場所の確保をお願いします。

なお、通学時の注意点等を1分程度に分かりやすくまとめた児童生徒等向けのクマに関する動画もありますので、積極的にご活用ください。

（動画）「クマにおそわれないための3つの約束」（政府広報・文部科学省・環境省）

<https://www.youtube.com/watch?v=FIr0AnX9m38>

